

教室で使えるGraded Readers シリーズ

a
teacher's
guide



MACMILLAN
LANGUAGEHOUSE

Have you got your copy of
the latest Macmillan/Heinemann Readers catalogue?

C O N T E N T S

- 2** Graded Readersシリーズの内容と特徴
- 2** なぜGraded Readersシリーズが効果的か
- 3** 教室でGraded Readersシリーズを使うには
- 4** クラスタイブラリーを作る
- 7** クラスリーダーとして読む
- 13** Macmillan Heinemann Guided Readersシリーズの紹介
- 14** MHGRシリーズ・各レベルの文法内容
- 15** クラスリーダーとしてElementary Levelでの展開例
- 19** Black Cat Board Game
- 20** Jurassic Park Board Game
- 21** [サンプル] Worksheets
- 26** [サンプル] Worksheet Answer Keys

教室で使えるGraded Readers シリーズ

Graded Readersシリーズの内容と特長

Graded Readersシリーズは、英語を第二外国語として学ぶ学習者を対象としたフィクションおよびノンフィクションの読み物です。学習者は、英語習得の段階に応じ、また興味にしたがってそれぞれに、適切で、さまざまな講読教材が選べます。Gradedという名の示すとおり、グレード別に文構造・構文・語彙・文法と、状況や文化的背景に配慮がなされた内容のテキストが、用意されています。たとえば、上級のレベルでは、すでによく知られた文学作品を原作とした物語や、より初級のレベルには、オリジナルの書き下ろしが多く含まれています。

このようなGraded Readersシリーズですが、語学用教本というよりは、一般のペーパーバック本のようなものです。鮮やかなカラー表紙が学習者の注意をひき、手にとって読みたいという気にさせます。また、本の厚さも、初級のレベルのほとんどは薄く短いのので、一気に、容易に読めるようになっていきます。これは学習者が、まず手にしたとき、「これなら読めるかもしれない」と感じるための重要なポイントと言えるでしょう。外国語の本を一冊でも読み通すことは、「やったぞ」という達成感を生み、もっと英語を勉強したいという大きな動機付けにつながっていきます。「もっと読みたい」という気を起こさせるからです。

グレード別に決められた言語習得レベル、いわゆる文法力の枠はきっちり守られています。これは当然のことのようですが、各グレードのレベルに達していれば、テキストの内容は十分に理解することができ、またその内容を通してその文法力も強化できるようになるのです。

Graded Readersシリーズの重要な点は、じつは情報コントロールにあります。各センテンス、パラグラフ、ま

た章ごとの情報量が、各レベルに応じて適切に調整されています。サブストーリーが多すぎることなく、学習者が容易に、かつ楽しんでストーリーについていける、必要最低限の情報に集中できるよう配慮されているのです。

私たち日本人が日本語のものを読むときには、日本人としての莫大な量の文化的背景や知識を持ちこみながら本に向かっています。当然ながら、テキストが英語となるとそうはいきません。多くの学習者には、この種の文化的背景知識が不足しており、そこに含まれているテキストの正確な理解が妨げられることもあります。これは、文字によるテキストの情報には限界があるからで、そのような情報は、挿絵、また時に、本の最初にまとめられた短い「要約」や、地図・表、登場人物のポートレートなどとして、全体的な理解をサポートしてくれます。

各レベルで、基本となる語彙は限られます。したがって学習者がそれぞれのレベルで、知っているとされる語彙以外の、新語あるいは普段からなじみが薄いと思われる単語の処理はどうするかが問題です。これらは、コンテキストで意味が十分に明らかになるようなところで効果的に使われ、また繰り返し現れて、その語の「デビュー」が強化される仕組みになっています。上級のレベルでは学習者が困難と思われる単語は特にリストアップされています。また、ページに載っている写真、地図や図表などによって、難しい単語やストーリーの展開、限られた単語で表現することが難しい思想や観念などもスムーズに理解できます。

これらすべてが、テキストの理解を助ける手段となるのですが、それによって、学習者は辞書を引き引きテキストを追うというのではなく、すらすらと読み下していけるような読解能力を伸ばしていけるのです。

このようなGraded Readersシリーズは、教師にとってはまたとない貴重な教授用ツールとなり、これによって学習者は、リーディングに積極的に挑むことを覚え、英語学習の大きな動機付けを得ることができます。

ところで、語学学習全般からみて、リーディングは果たして意味ある習得と言えるのか、またもしそうなら、どのように、あるいはどの分野に効果があるのか、という点に注目してみよう。

なぜGraded Readersシリーズが効果的か

教室でのリーディングの多くの授業は、たいていコースブックを開いて、短い文の一節を読んだり、語彙や構文にポイントを置いた質問に答えさせたり、さらにはスキミングや未知の単語の意味を推量させるといった、特殊な読解能力を発展させるというようなものなのでしょう。この種のやり方はふつう、精読と呼ばれ、教室を離れた多読に備えるための重要な能力とされています。ここで言う多読とは、小説やノンフィクション、参考書など、たいていは多くの学習者がすでに自国語で行っているように読むことを指します。

授業外での多読によって得られるものはかなり大きいと言ってよいでしょう。外国語の多読がどのような成果をもたらすかについての研究では、次のことが指摘されています。

- 速く読めるようになる
- 語彙が大きく増加する
- 言語がどのように使われるかより深く理解できる
- ライティング能力が向上する
- 全般的にその外国語に対するより積極的な態度が身につく

では、この一つ一つについてみていきましょう。

すらすら読めるようになる

私たちは母国語で読むとき、ふつう、一度の眼の動きで捉えることのできる数語の単語をまとめて読み取っています。ところが外国語となると、多くの学習者は一語ずつたどって読んでいるので、当然、読解のスピードは落ち、テキスト全体の理解も妨げられます。ページの終わりに行くにつれ初めのほうは忘れてしまうからです。Graded Readersシリーズでは、こみ入った言いまわしは避け、できるだけ単純な表現を使うこと、情報量が多すぎないようにすること、また新語は、体系的にかつ自然な文脈で繰り返すこと、——このような配慮によって、学習者はより多くのテキストを読みながら理解できるようになります。読めば読むほど、外国語を、まるで「ネイティブのように読む」力を育てていくことが容易になるのです。

語彙が獲得できる

多くの学習者にとって外国語を読むこと自体が、知らない単語があるというフラストレーションを起し、その結果、「もう読みたくない」というやる気のなさを呼びこみがちです。ところが、Graded Readersシリーズを使えば、いろいろな内容から幅広く読む本が選べるので、限られた語彙力でも、未知の単語もさまざまなコンテキストでの意味と使い方に遭遇することで、より深くコンセプトとして身につけてきます。その結果、テキストに出てくるすべての単語がわかっていなくても、意味を推量しながら、テキストのおおよそを理解することができるようになります。それによって、「読めたぞ」という達成感と自信を築くことができるのです。

どのように言語を使うか

多読のもうひとつの重要な機能は、英語の組み立てがどのようになっているか、徐々に気づくようになることです。文は、パラグラフによって組み立てられて、パラグラフはテキスト全体を形作るためにアレンジされていることがわかるようになります。このことは、教室の授業で文やパラグラフ単位で読む学習者にも同様大切なことです。多読を通して、単語と単語がどのようにつながって1つのコンセプトを作り出すのか、また代名詞(itやhe)はどのように使われるのか、またテキストを論理的に正しくつかむための重要なポイントは何か、について理解できるようになるのです。

より長いテキスト読むことで、テキストが、典型的な構文の集まりや短い文の連続としてではなく、実際にさまざまな思想や考え方、また気持ちといったものでさえ伝えるものであることを実感できるようになります。多くの学習者には、授業を離れた「使える」英語に接することのできる、唯一の機会と言えるでしょう。

ライティングの能力の改善

一定の期間続けて多読を行うと、ライティングのような他の言語能力にも直接の影響があることが、最近の外国語教育の研究によって年々明らかにされつつあります。「書く」ばかりでなく、他のさまざまな作業にも進んで挑むようになるということです。多読とライティングとの相関関係、すなわち、多読が、その後の本人のライティング能力にどう影響を及ぼすかを立証することは困難ですが、よく読む学習者が、わかりやすく正しい英語を書くことができる、という点では明らかな関係が指摘されています。

自信を築く

精読は、多読プログラムに必要な読解能力にとって不可欠なことは明らかですが、英語だけでなくどのような言語においても、多読と精読はともに補い合うべきものです。教室での授業の進め方においても、授業以外でも「たくさん読みなさい」とすすめるのが常道です。多読プログラムのGraded Readersシリーズは、最終的には、グレードにとらわれない、すべてのテキストの多読にたどり着けるような、学習者独自のやり方や能力を引き出すこと、これに尽きるものと言ってもいいでしょう。

教室でGraded Readersシリーズを使うには

授業で使う方法には2通りあります。

I クラスライブラリーをつくり、各自が本を借り出して読むリーディングプログラム

人に頼らずに自分の力で読むという気持ちが育ち、また自分のペースで、自分の興味に合う本が読めるという利点もあります。グレードを越えて、自分の力に見合ったものが選べます。

II クラス全体でのリーダーとして読むリーディングプログラム

1人ではなく大勢で読んでいくことは、「みんなでやれば怖くない」という効果が期待できます。すなわち、内容や単語を理解していく際の困難に挑む、動機付けが可能になるからです。本を読んだ後、クラス全体のディスカッションや意見交換もできます。

もし授業時間に余裕があれば、この両方のリーディン

ダプログラムで、それぞれが補い合うこともできます。ではGraded Readersシリーズを使った2つの方法を詳細に見ていきましょう。

クラスライブラリーを作る

Q：クラスライブラリーって何ですか？

図書館なら学校にあるじゃないかと思われるかもしれませんが、クラスライブラリーとは、教室の生徒が直接利用できる英語の本のライブラリーを言います。

学校図書館にはさまざまな科目のすべての書籍があり、年少のときから読書好きな生徒には願ってもない場所というわけで、彼らは、読書欲を満足させるために定期的に図書館に通います。ところが、「時間がいないんだ」とか「忘れた」、「どんな本を選んだらいいの?」といった言い訳をいつも探しているような生徒たちには、無いも同然の場所なのです。この違いは、リーディングプログラムにおいて注目すべき点と思われます。教室に図書館を持ちこむことで、少なくともそのような生徒たちも英語の本を身近に感じ、同時にリーディングが英語の授業の中心的な部分であることを示すことにもなります。

Q：クラスライブラリーはどのように作ったらよいのですか？

クラスライブラリーが有効に機能するかどうかを決定する重要な要素は、教師と生徒が協力して作り、運営する責任をもつことです。生徒たちがその始まりから深くかわればかわるほど、それらを利用する動機付けもより深くなるはずです。

Q：本は誰が選ぶのですか？

本は教師が選ぶこともできるし、さらにうまくすれば、生徒たちに、カタログからどの本がいいと提案させることもできます。それぞれの本については、必要なら日本語で説明し、教師が適当と思われるレベルを見ながらやさしくリードします。

レベルについては、生徒たちの過去のテスト成績を参考にするという方法もありますが、Graded Readersのレベルを選ぶ最も有効な方法は、教師自身の直感に任せることです。それぞれのレベルから2～3冊選び、自分自身で読みとおしてみます。こうすれば、自分の生徒たちにはどのレベルの本が見合うかわかるでしょう。

資金については、学校で購入するのが無理なら、生徒一人につき本2冊分の負担でまかないます。もちろん、一人2冊以上の本が揃えられればそれに越したことはありませんが、最低の運用冊数は、生徒一人に2冊とすべきでしょう。

Q：本はどこに置きますか？

教室にスペースがあれば、生徒たちとの共同決定として「ブックコーナー」作りに参加させやすく、理想的でしょう。これは全部の本の表紙が見えるように並べられる棚があれば十分です。教室から教室へと移動する必要がある場合は、持ち運びできるキャビネットと車輪付きの台車を用意しますが、校内では階段の昇降には不便かもしれません。そこで、ポケット（できれば透明の）付きの壁掛け式のもの（図1参照）はどうでしょうか。これなら、どこにも持ち運べるし、また保管も簡単です。

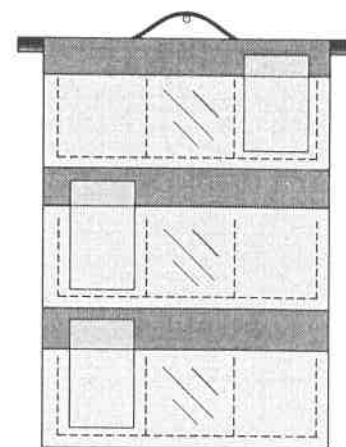


図1

別の方法として箱に保管するというのもありますが、これだと、本がとても薄いので本を選ぶためには表紙を見なくてはなりませんから、必ず箱から取り出して並べなければなりません。タイトルと共に表紙がいつも見えるようになっていれば、生徒たちは本をまず手にとって見ることができます。これは、本を身近に感じ、興味を覚えるようにするためには大切なことなのです。

Q：本の貸し借りはどのようにしますか？

本の貸し出しカードをカバーの内側に入れておき、ライブラリーモニターの係が集めて小さな箱に保管します。どの本が貸し出されているか知るためのものです。生徒たちにはこのライブラリーモニターとして参加させ、貸し出されている本と返却された本すべてをチェックし、本を管理することの責任を持たせます。このような組織的な活動によって、紛失と破損を防ぐことができます。

Q：生徒の読書記録はどのように記録しますか？

図書記録は壁に表にして、生徒が本を借りるたびに書きこんでいきます。(図2参照)

Name	Book title	Date taken	Date returned	Recommended	Book title	Date taken	Date returned	Recommended
Pedro Alvarez	Ski Race	8/10	15/10	Easy	The Briefcase	17/10		
Elena Bafill	Sugar and Candy	6/10	13/10	Good with cassette	Blue Pine	20/10	25/10	Interesting
Susanna Caro	The Briefcase	6/10	20/10	Difficult	Sugar and Candy	6/10		

図2

また、個人個人に読んだ本の記録をノートにつけさせ、タイトルと著者名、日付、ストーリーの要約、全体の印象などを書きこませます。初級のレベルでは、英語で書けなければ日本語でもいいでしょう。教師のほうでも各生徒が読んでいる本の記録をつければ、彼らの興味と進歩についての情報として、次年度のコースの教師に手渡す貴重な資料となります。

Q：本はどのように整理しますか？

言語レベルまたは内容によって整理できます。例えば、Macmillan/Heinemann Guided Readersでは、生徒の英語の能力がわかっているなら、言語レベルのグレード別に、一目でわかるようにカラー分けされていますので便利です。たとえばオレンジはBeginner Level、ブルーはUpper Levelというように表紙のカバーに示してあります。

このコードシステムを利用して、本の背表紙に四角や丸で色付きシールを貼ると、Graded Readersのすべての

レベルが簡単にすばやく見渡せます。

カラーコードで言語レベルを示しておけば、ジャンル別に、スリラー、ロマンス、SF/ファンタジー、ミステリー・ホラー・幽霊もの、ヒューマンインタレストなどに整理できます。グレードの違うさまざまな生徒がいるクラスでも、また個人でも、内容によって読みたいと思うものをレベルに関係なく選ぶことができます。

多くの本には、カセットが付いています。本の貸し出しカードをカセットとは別に整理するシステムにすれば、その本が貸し出し中でも、カセットが聞きたい生徒に利用が可能になります。

Q：生徒たちはどのようにして読みたい本を選ぶのですか？

まず、生徒たちがクラスライブラリーを眺める時間が必要です。これは授業中でも、休み時間でも放課後でもできますが、いつでもできるような配慮が必要です。Graded Readersの言語レベルは重要ですが、本選定の決定要素とはなりません。生徒が「読みたい」という気持ちになるのは、その内容です。実際に理解を妨げない限り、言語レベルは二次的なものとし、生徒たちが興味を覚える本を探し出すことに集中させるべきです。

生徒が自分で決められないというときには、彼らの興味やレベルによって助言も可能ですが、最終的には生徒自身で決めさせるべきでしょう。

Q：いつ読むべきでしょうか？

家でも可能ですが、時間に余裕があれば授業時間での黙読で可能です。これは、授業中、教師が個別に指導が

必要な生徒に対応している間に他の生徒たちは本を読む、という貴重な授業時間が有効に使えます。また週に30分、家でどの生徒一人一人の読書の内容を聞いたり、どんな本を読んだらよいかアドバイスするための時間を取りましょう。これで、彼らが家で本を読むか読まないかの違いが出てきます。生徒が本気になって、自分の読む本に興味を持てるようになればリーディングの授業に熱心に取り組むようになるはずです。

生徒に教室で音読させることはすすめられません。これは逆効果です。生徒たちは自分の発音や読むスピードを意識して過敏になり、その結果は自信の喪失を招きます。また聞いている生徒たちも意味やストーリーの展開を楽しむというより、間違い探しに熱心になるからです。時折教師が短い一節を読んで聞かせましょう。こうするほうが、生徒には、内容を追いつながら発音のモデルが聞けることにもなります。別の方法として、本の一節を聞かせてLLの言語ドリルとして使い、生徒たちに発音を個別に指導することもできます。

Q：どうすれば読む気にさせることができるのでしょうか？

これまでは、ライブラリーをつくり、まず読書をスタートさせることに生徒をどう巻き込むかを見てきましたが、ここでは、生徒たちの興味をどのように引き起こすか、Graded Readersシリーズを使ったさまざまなアクティビティーを紹介しましょう。

アクティビティー A

①何冊かの本の表紙のタイトルの、はがせるラベルを貼

って、そこに番号をつける。(図3参照)

- ②タイトル名を書いたリストを見せる。
- ③それぞれの本を見せて表紙の絵から判断して、どのタイトルと結びつくか、番号で答えさせる。
- ④ラベルをはずし、合っていたかどうかチェックさせる。

[答え] 1. *This is New York* by Betsy Pennink
2. *Frankenstein* by Mary Shelley
3. *Shane* by Jack Schaefer

アクティビティー B

- ①本の裏表紙に載っている「推薦文」、またはカタログ中の紹介文などを利用して、教師自身が、生徒に見合った語彙でリライトした「要約文」を用意する。
- ②この推薦文か要約文をいくつかと、それに該当する本のタイトルだけを順不同に並べて書いたものを渡し、線で結ばせる。(図4参照)

注意) このアクティビティーでは、要約文または推薦文に、必ずタイトル名に結びつくカギが含まれていることを確認すること。この方法なら、何冊でも生徒たちに本を紹介することが可能です。

アクティビティー C

- ①タイトル名または要約文を3~4つ選び、リストにしたものを渡す。
- ②選んだ本からの短い抜粋をカセットで順不同で聞かせる。
- ③抜粋部分と合致するタイトルを選ばせる。

注意) アクションの多い刺激的なところを聞かせると、何が起きているのか、その続きを読みたいという気にさせることになるでしょう。

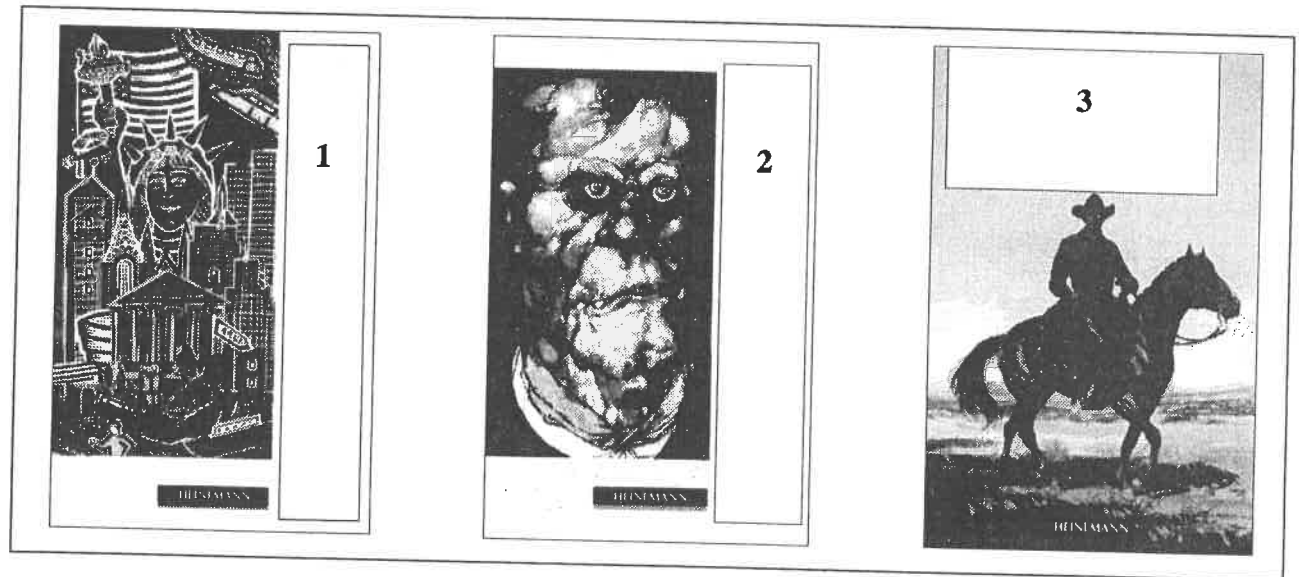


図3

アクティビティー D

- ①数冊の本から短い抜粋を選び出す。ただし、ストーリーまたは重要な登場人物の記述にカギとなる部分が必ず含まれていること。
 - ②タイトル名を書いたリストを渡し、先の抜粋したものはどれか選ばせる。
- これらのアクティビティーはどの本を使ってもできますが、その狙いは、生徒たちにクラスライブラリーには、じつにさまざまな本がある、ということを感じさせることにあります。

Q: 「読みながら」のアクティビティーは必要でしょうか?

読みたい本が見つかった生徒たちには、もはや助言も

必要なく、楽しんで読むようになるでしょう。Elementary IntermediateとUpper Levelの本には、理解をチェックするための質問が本の最後にありますので、精読のワークとして利用できます。

まだ誘導が必要な生徒のためにはワークシートがあります。これは各本に同意されていますが、ご希望の方に無料で差し上げています。このワークシートはどれも「読む前」のワークです。それに続けて行う「読みながら」と「読んでから」のアクティビティーとしては、精読と多読の両方があります。

カセットは理解を深めるには大きな助けになります。読む前、または読みながらそのパートを聞く、あるいはまたストーリー全体を読んだ後でも利用できます。ストーリーがドラマ仕立てになっているので、生徒は書かれ

Summary/Blurb	Book Title
The children wanted Arthur to tell them a ghost story. But he could not do so. His story was too horrible to tell. His story was of a lonely house among the dangerous marshes. There a woman in black with hate in her eyes waited and watched. And a child cried out in the mist.	The Hound of the Baskervilles
Mahmoud came from a poor family in a small village. His parents and sisters did not understand him. Mahmoud was a genius. But he did not want money or friends. He wanted to be the Cleverest Person in the World. And no one was going to stop him.	The Woman in Black
Sherlock Holmes and Dr Watson have to solve a strange mystery on Dartmoor. They go to find out if a huge dog has killed Sir Charles Baskerville.	Frankenstein
The lightning was all around me. I looked at the huge body. The silver light reached the hands, the feet and the head. For a moment everything was quiet. Was it moving? No, yes! An arm moved and then a leg. Then I heard breathing. Yes, the man was breathing. He was alive!	The Cleverest Person in the World

図4

方もいるかもしれません。これは問題とはなりません。逆に利用するのです。本の内容がよくわかっている生徒たちには、クラスメートにこれらのアクティビティーの手助けをさせます。また、クラス全員の前で感想を述べさせ、生徒に質問させることもできます。

壁に貼られた読書記録の表を使って、自分の読んだ本を友達にすすめることもできます。これは読む動機づけを与える最も貴重なものとなります。別の方法では、自分の読んでいる本についてクラスの前で短い話をさせることもできます。また、クラス全員用に、内容理解のチェックテストを作ります。それには、表紙やタイトル、挿絵などについての質問もあっていいでしょう。

おそらく、クラスライブラリーをいつも活用させる最も重要な方法は、教師のあなたが1年を通して興味を示し続けることでしょう。

クラスリーダーとして読む

リーダーの本として、授業中にクラス全体で読んでいきます。あとで紹介するアクティビティーには、成人を対象とした大人数のグループにふさわしいものもあり、学習環境によってさまざまな年齢層のグループでも活用できるものですが、主な狙いは、テキストを詳細に見ていくのではなく、全体的な理解を助けることにあります。生徒たちは、語順の分析をしたり、特殊な単語の意味を確認したりという、いわば「精読」に適した作業ではなく、全体的な理解を妨げない限り、わからない単語を「無視して」読むことが奨励されます。自由に想像力を駆使して、テキストを自分のやり方で解釈することを覚えていくのです。

たテキストをただ読んでいくよりも容易に、プロットについていくことができます。これは特に読むのが苦手な生徒には効果があります。生徒はテープに従って、一定のペースを保って読むことを体験し、またよく理解していないセクションでは何度も繰り返して聞かせることができるからです。読みながら聞くことは、文字に書かれた単語を、耳から音と関連づけることができ、単語が覚えやすくなるということもあります。

Q：生徒たちの興味を一年を通して維持させるにはどうしたらよいですか？

年度の初めに生徒全員が十分な動機づけを持ってス

ートしたはずのクラスライブラリーが、年度の終わりにはほんの少しの生徒にしか読書が根づかなかったという結果に終わることがよくあります。動機づけのレベルを維持することがひと仕事なのです。これには、上に述べたようなアクティビティーを1学期の初めにだけやるのではなく、1年を通して定期的に行うことです。こうすることで、自分たちのクラスライブラリーであることを常に思い出させます。

たとえば学期の途中でこのアクティビティーをやるとしましょう。「生徒たちはすでに多くの本を読んでいて、これらのアクティビティーのカセットで聞かせる要約や抜粋部分を知っている生徒がいるのでは」と、心配する

アクティビティーは、読む前と、読みながら、そして読んだ後、の3段階があります。「読む前」は読みたくなるような動機づけや、本のテーマに引き込むまたはテキストそのものに関与させることが目的です。「読みながら」のアクティビティーは、文字通り、テキストの理解を助けること、「読んだ後」では読んだ本について考えさせることが目的です。

<読む前のアクティビティー>

クラスライブラリーの項で述べた **アクティビティー A**、**B**、**C**、そして **D** が、これから読もうとするリーダーの情報を与える、導入に有効な方法として利用できますが、さらにいくつか、アクティビティーを紹介しましょう。

2冊の本から引いた章の見出しを整理する

アクティビティー E

- ① 2冊の本から引いた章の見出しだけをごちゃ混ぜにして並べる。(2冊目のものは次のリーダーとして使用する予定のものを選ぶ。)
 - ② 2冊の本のタイトルと表紙を見せる。
 - ③ 章の見出しを、図5の例のように、それぞれの本の見出しとして整理して書きこませる。
- 注意) それぞれの章の見出しから、ストーリーがどのように展開するか予測させる。場合によっては、本の裏表紙から「推薦文」を読んでヒントとすることも可能。

1. Read these descriptions of what happens in these two stories at Beginner Level.

The Sky's the Limit

Max worked for a large company - Friendship Services International. Every day he received lots of letters. These letters asked for 'FSI products'. But FSI products had no names! They only had numbers and letters: X3Ys, L7Ks, A5Qs. What did these numbers and letters mean? Max did not know.

Dear Jan...Love Ruth

They were so different: Jan from Poland. Ruth from England. 'What's wrong with an English boyfriend?' Ruth's mother asked. But Ruth did not listen. She did not care. She loved Jan.

2. Here are the chapter headings from the two books. Put the headings in the correct column:

The Arrival	The Ground Floor	Going Home
The Fifth Floor	An Important Man	Ruth's Parents
Higher and Higher	The Meeting	A New Start For Max
Bad News, Good News	Jan and Ruth	The Sky's The Limit
	The End	

Dear Jan..Love Ruth	The Sky's The Limit
The Arrival	

各章の見出しを順序よく並べ替える

アクティビティー F

- ① 1冊の本から引いた見出しだけを、順不同に並べる。
- ② どの見出しが最初で、どの見出しが最後か答えさせる。
- ③ 章の内容が一番わくわくしそうなもの、悲しそうなもの、一番重要な展開がありそうだと思うものなど、それぞれを答えさせる。
- ④ 残った章の見出しを見ながら、順番を決めさせる。
- ⑤ まず、1つの章でどんなことが起こりそうか、次に、ストーリー全体でどんなことが起こりそうか予測させる。
- ⑥ 順に並べられた章の見出しだけからストーリーを作り、発表させる。それぞれの章での出来事を短いパラグラフに書かせるのもよい。

挿絵を使って行う

アクティビティー G

- ① 同じ本から取り出した一連の挿絵を見せる。例の次ページ図6は、Beginner Levelの、*The House on the Hill* (Elizabeth Laird) から引いたもの。
- ② 挿絵を順序よく並べ替え、ストーリーを作らせる。

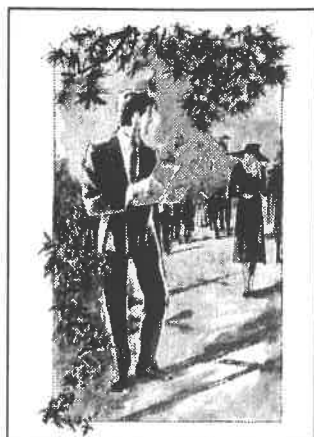
アクティビティー H

挿絵だけでなく、手紙文を使ってもよい。次ページ図7は、Upper Levelの *The Return of the Native* (Thomas Hardy) のワークシートから引いたもの。

図5



a



b



c



d



e



f



g



h



i



j



k

Here are two letters from early in the story.
Try to answer these questions about Letter 1 and Letter 2.

- What is the relationship between the writer and the person who received the letter?
- What is the problem?
- What do you learn about the characters of the people involved?
- Do you think there is a connection between the two letters?

LETTER 1

Dear Diggory Venn,

I was surprised at your question. I'm afraid I can't marry you. I'm sorry I laughed when you asked me. My aunt likes you. But I'm sure she doesn't want me to marry a dairy-farmer like you. It is better if we don't meet again.

Thomasin Yeobright

LETTER 2

After thinking it over carefully, I have decided that we must not meet or speak to each other again. For two years now, you have been unfaithful to me. I am ending our friendship because you are marrying another woman.

Eustacia

図7

ロールプレイを行う

アクティビティー 1

本によっては数多くの人物が登場するが、たいてい、本の初めの部分に短い人物紹介があり、名前だけでなく、職業とストーリーでの関わりが書かれている。この部分を使って、これに他の情報も加えたロールプレイカードを作らせる。こうすると生徒たちは、本を読む前に登場人物に親しみを感じるようになる。

たとえば、30人のクラスに6人の登場人物を割り当てる例をみてみよう。

図6

- ① 6人のロールプレイカードを5セット用意する。
- ② 6人ずつの5つのグループに分ける。
- ③ それぞれのグループに1人ずつ1枚のロールプレイカードを配る。
- ④ 生徒は渡された人物のカードを読み、必要に応じてメモを取る。
- ⑤ 5つのグループに分かれたまま、1人ずつ同じグループ内の他のメンバーと話し合わせる。立って、お互いに自己紹介し合い、他のメンバーの人物の、名前や職業などをメモする。
- ⑥ グループ内の全員が紹介し合えたところで席に着かせる。
- ⑦ 他の人物についてわかったことを書かせる。自分のカードの人物がどんな容貌と思うか、短い説明を書かせる。
- ⑧ 本を開けさせ、自分の書いた説明と挿絵画家の書いたものとを比較させる。

注意) 生徒たちを等分に分割できなければ、ロールプレイカードを本の中のマイナーな人物にまで広げてよい。または、違うグループには違う人物のカードを渡して行う方法もある。グループ内でそれぞれ質問し合い、わかったことを整理し、欠けている情報を補い合うようにする。

<読みながらのアクティビティー>

出来事を順序よく並べる

アクティビティー J

- ① 本から引いたセンテンスにランダムにナンバーをつけて並べる。これを、ストーリーの流れに沿って正しい順序に並べ替えさせる。次の例(図8)は、Elementary Levelの *Z for Zachariah* (Robert C. O'Brien) から引いたもの。

Read these sentences and put them into the correct order.

Mr Loomis makes Ann fall.

Mr Loomis tells Ann not to touch the suit.

Mr Loomis wants to go to Ogdentown.

Ann tries to find out more things about Mr Loomis.

図8

注意) センテンスにはストーリーの出来事が要約されているものを選ぶ。ストーリー展開のカギとなるポイントをそこから見つけ出させること。

予測させる

アクティビティー K

- ① 2人ずつまたはグループに分ける
- ② 予測できない出来事が起こるような一節を本から引く。
- ③ 1章分または2ページに渡るパートの、最初と最後の行を示す。
- ④ このパートのあとに何が起こるか予測させる。

アクティビティー L

- ① 本のあるパートの、カギとなる単語を出てくる順に並べる。
- ② このパートで何が起こるか予測させる。

図9の例は、Elementary Levelの *The Stranger* (Norman Whitney) の最初の4章分から。

These words have been taken from the first part of a story.

Read them with your partner and talk about what you think happens in the story.

VILLAGE
STRANGER
BUYS HOUSE
SHOP
SPECIAL ROOM
UNUSUAL CUSTOMER
PALE AND FRIGHTENED

図9

ジグソータスク

アクティビティー M

これは、1つの章の中から引き出した、内容的に異なる要素を含んだ短い節をいくつか使って行う。書いたものでもカセットで聞かせてもよい。狙いは、部分的な情報を組み合わせながら全体の理解にいたらせることにある。

- ① 1つの章の中から引き出した節を「ジグソー」として3つ分用意する(またはそのジグソーをカセットで聞かせてもよい)。そしてその3つのジグソーに関連するカギとなる質問のセットを作る。
- ② 生徒を3つのグループに分ける。各グループにジグソーの1つのパートを割り当て、それぞれの生徒にはすべての質問のセットを渡す。この段階で生徒は、自分のグループに割り当てられたジグソーに関する質問にしか答えることができない状態にある。
- ③ 質問を検討してできるだけ詳細に答えを書かせる。
- ④ ここで生徒たちはばらばらになって、新たな3つのグループ、つまり、それぞれ違うジグソーのグループから1人ずつ寄せ集めたグループに再構成させる。それぞれ違うジグ

ゾーの情報を持ってより集まったことになる。図10を参照。

- ⑤新しいグループでは、それぞれ自分の最初のグループで得た（質問に解答することで得た）情報を他のメンバーに説明させる。そのとき聞いているメンバーに、自分が知り得なかった残りの質問の答えを埋めるための情報を書き取らせる。

注意）これは、挿絵を使っても可能である。

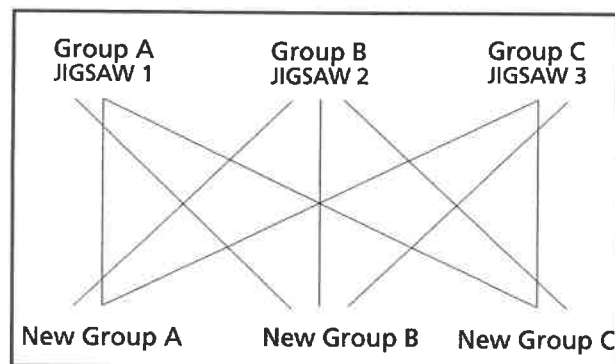


図10

イラストを使って

アクティビティ N

単語を提示し、身につけるために挿絵を使うアクティビティ。次の例（図11参照）は、Elementary Levelの*The Promise* (R. L. Scott-Buccleuch)、21ページから引いたもの。

内容を読んでいく前にまず挿絵に注目させる。その絵を見ながら関連する語を引き出させ、dodgeという語をすぐさま思いつくようにもっていく。黒板に単語を書いて、どう定義したらよいか質問する。この定義も黒板に書いておく。そこで、生徒は章を読みながら、黒板に書かれた単語とその説明を必要に応じて見ることができる。

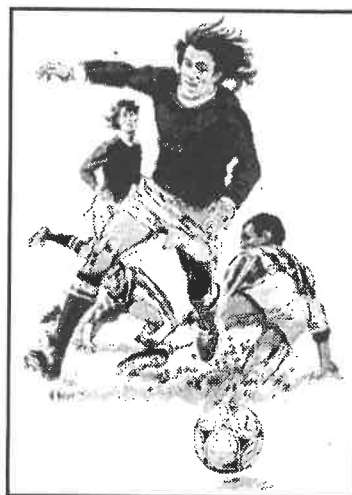


図11

アクティビティ O

読む前に本のあるページの1枚の挿絵を示し、何が起りそうか、どんな内容になるか、予測させる。

アクティビティ P

- ①生徒をペアに組ませる。
- ②1人が、すでに読んだリーダーの本の中からあるパートの挿絵を選ぶ。パートナーにはその絵は見せない。
- ③絵を選んだ生徒はその絵の説明をする。パートナーは聞いてその絵が関係するストーリーのパートはどこかあてる。

コマ続き漫画を使ってダイアログを作る

アクティビティ Q

コマ続き漫画付きの会話がある本を選ぶ。登場人物に扮してその会話を生徒たちで演じ、カセットに吹き込む。

アクティビティ R

コマ続き漫画のあるパートは、この部分の吹出しに書かれた台詞を地の文に書きなおす作業としても利用できる。たとえば図12は、Beginner Levelの*Death of a Soldier* (Philip Prowse) の16ページから。図13は生徒の答えの一例である。



図12

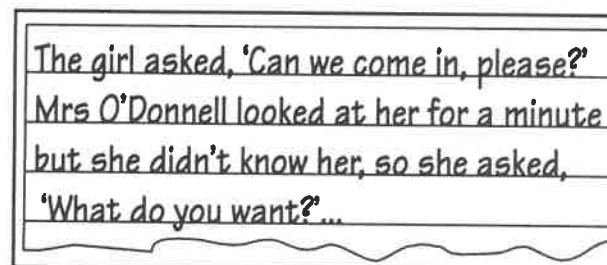


図13

観点を変えてストーリーを見直す

アクティビティー S

- ①I...という言葉で始めて主な登場人物にストーリーの一部を語らせる。
- ②ストーリーの本来の話者ではない、別の登場人物から見たストーリーとして語らせる。
- ③上記の1と2は、さらにHow do you feel? What do you think of...?などの質問で発展させることもできる。

登場人物を研究する

アクティビティー T

登場人物をさまざまな観点から、たとえば勇気、残忍さ、寛容さ、自己中心など、ある特質を持った人物として注目させ、2〜3人書き出させる。また、このような性質はストーリーが進むにしたがって変化していくかどうか。

<読んだ後のアクティビティー>

登場人物について

アクティビティー U

- ①何人かさまざまな人物が登場する個所を選び、その部分をコピーし、マーカーを使って、その登場人物の名前が示されている部分が見えないようにつぶして配る。
- ②黒板にすべての登場人物の名前をリストアップする、または生徒にペアで、このリストを書かせる。
- ③さまざまな登場人物の記述を読んだところで、それぞれの説明の初めに述べられていると思う人物の名前を書かせる。
- ④本を見て答えをチェックさせる。

推しゲーム

アクティビティー V

ペア（またはグループ）で行う。黒板に登場人物をリストアップする。1人がその中の1人になったつもりになり、パートナー（または他のメンバー）は、イエス・ノーの質問をしながらそれがだれかあてる。

ストーリーの続きを考える

アクティビティー W

読み終わったところで、その後何が起こるか予想させる。これは宿題の課題として最適。

シナリオを書く

アクティビティー X

ストーリーを劇の台本として書かせる。これをもとに実際に上演したり、カセットやビデオに録音するのもよい。

ボードゲームとして

アクティビティー Y

テキストに関する質問をコマに加えたボードゲームを作る。質問事項は、どんな出来事が起こったか、それに登場人物はどう反応したか、何を、誰が言ったかなど。1人の生徒が質問のコマに取り掛かっているとき、他の生徒は本の内容にあたって、その質問の答えが正しいかどうかチェックする。

ストーリーを語る

アクティビティー Z

ストーリーを要約させる。これは、単なる言い換えだけ

の要約ではなく、より現実的な、たとえば、以下のような形に書かせる。

- 批評文として
- 友人への手紙として
- 例として図14は、Marco (Mike Esplen) から。このように、主要な人物の書く日記として。（この例では、アクションが2日にわたって続いた個所である。）

Marco writes a diary every day about all the things that happen to him. Write Marco's diary for Saturday 8th September.

Saturday 8th September	199-
Today was very difficult....	

図14

引用を一致させる

アクティビティー AA

ストーリーから台詞をたくさん引き出し、どの登場人物が言ったものかあてる。

Macmillan/Heinemann Guided Readersシリーズの紹介

John Milne

- Starter, Beginner, Elementary, Intermediate と Upper レベルの5つのグレードは、文構造、文法項目と語彙が段階的に身につけていくよう、慎重にバランスよく配置されて構成されています。また、それだけではなく、各グレードに応じた内容は、事実と文化的情報が絶妙にコントロールされています。これはEdinburgh Project on Extensive Reading [1989] で高く評価されています。
- フィクション、ノンフィクションを問わず幅広く選んで、書き下ろしやすでに知られた小説を原作としたバージョンもあります。
- 品のよい、完成度の高い挿絵と、読みやすさに最大限の配慮がなされたやさしい字体が使われています。
- Starter と Beginnerのレベルではフルカラーの挿絵が幅広い読者を引き付けます。
- 現代作家の手になる入魂の表紙デザインは、その本の個性を十分に語ってくれます。生徒は、教科書としてではなく、楽しめる読み物として読んでいけるでしょう。裏表紙を見ればその内容が、また背表紙には、レベルを示す色がはっきりとわかるので、教師も生徒も一目で求めているものを選ぶことができます。
- Elementary, Intermediate と Upperのレベルでは、「理解のポイント」を示す質問が用意されています。どんなストーリーか、どんな出来事が展開していくのかを質問に答えながら、内容の理解度をチェックすることができます。

- Intermediate と Upper のレベルでは、内容理解に必要な特殊な語彙については単語表がついています。
- イラスト付きの登場人物紹介や地図、ストーリーの背景や舞台設定の説明など、付加的なバックアップの資料は、教室でも家庭学習の課題においても大いに役立ちます。生徒のストーリーの内容理解を助けます。
- カセットテープも、教室や家庭学習で十分サポートしてくれるでしょう。
- ワークシートは、すべてのレベルにあります。読む前、読みながら、そして読んだ後のそれぞれの段階での、語彙と内容についてのリーディングを補助します。そのサンプルが21から25ページにあります。

このシリーズは、学習者の語学力に応じて、または幅広い興味に応えられるものとして、このどちらからも選択できるように配慮されているものばかりです。その気はあっても手を出せないでいるという生徒たちも、決して強制ではなく興味を引き起こすきっかけさえ与えてやれば、彼らはきっと、楽しみながら読むことを覚え、読了する達成感を感じられるようになるはずです。

教師は、生徒の興味をそそる豊かな内容をもった本で、しかもそれを読むことで基本的な英語力が身につくものを、このシリーズに見出したと確信することができるでしょう。そして教室で英語を教えるための最良のツールを、それを使いこなすための有益な資料とともに手にすることができるでしょう。

MHGRシリーズ・各レベルの文法内容

	動詞	名詞	副詞	形容詞	構文
Starter Level (300語)	現在時制 現在進行時制 未来時制とgoing to	普通名詞 固有名詞	動詞 + 副詞 (様態/場所/時を表す副詞句)	名詞の前の形容詞 補語としての形容詞	単文: S+V S+V+C S+V+O There is (are)~, It is~. Yes-No疑問文
Starter Levelと 全レベル重複項目	助動詞must (ねばならない) ◇ can (できる)			名詞の前の2つの形容詞	wh-疑問文
Beginner Level (about 600 basic words)	現在 + 過去 現在 + 過去進行形 未来 (going to と will/shall) can (できる) must (ねばならない)	普通名詞 固有名詞 同格としての名詞 andで結ばれた2つの名詞	動詞 + 2つの副詞 動詞 + 2つの副詞 (場所/方向/時/様態を表す副詞句)	2つの形容詞 + 名詞 名詞 + 形容詞句 比較級	単文 and, but, or等位接続詞で結ぶ重文 (2文節)
Beginner Levelと 全レベル重複項目	現在完了 過去完了	名詞と同格の名詞節	perhaps/probably		コンマとand, but, orで結ぶ重文 (3文節)
Elementary Level (1100語)	過去完了 受身	抽象名詞 3つの形容詞 + 名詞 2つの形容詞 + 名詞 + 形容詞句	頻度/期間を表す副詞	比較級と最上級	複文 (主節 + 従属節) 副詞節 (時を表す) 関係代名詞 (who, that, which) で結ぶ副詞節
Elementary Levelと 全レベル重複項目	不定詞 (目的) 仮定法、助動詞			最上級 + 形容詞節	副詞節 (比較を表す) 副詞節 (理由を表す)
Intermediate Level (1600語)	現在完了進行形 過去完了進行形 未来完了 仮定法構文 知覚動詞 + 不定詞 ◇ + 原形動詞	3つの形容詞 + 名詞 + 形容詞句/節	動詞 + 2つの副詞 + 副詞節	名詞を修飾するよりこみ入った形容詞グループ	複文 (主節 + 2つの従属節) 副詞節 (目的/譲歩・条件節) そう入節 仲介節
Upper Level (2200語)	未来完了仮定法 動詞活用形	修飾する名詞 4つの形容詞 + 名詞 + 形容詞句/節	動詞 + 2つの副詞 + 2つの副詞節		複文 (主節 + 3つの従属節)

クラスリーダーとしてElementary Levelでの展開例

クラスリーダーとしてGraded Readersシリーズの、*The Black Cat* (by John Milne) を使ったとき、実際にどのようなアクティビティーが可能でしょうか。具体例を紹介しましょう。以下に述べるほかにも、「教室でGraded Readers シリーズを使うには」の項で紹介したアクティビティーももちろん有効です。

「読む前」のアクティビティー

1. まず本の表紙を、タイトルを隠して見せます。本のタイトルは何か、どんなストーリーか、予測させます。舞台はどこか、またミステリーかロマンスかなど、どんなタイプの話が展開するかなど自由に想像させます。8 ページの新聞の見出しを見せましょう。そこから大筋の話を予想させます。
2. 本の1 ページにある、ストーリー紹介の欄をコピーして配ります。それを読んだところで、人物の予想などをさせます。Salahadin とはどんな人物か。ペアになって、彼の性格を記述する形容詞を5つ書かせます（ただし、身体的な特徴を述べる形容詞ではありません）。

「読みながら」のアクティビティー

アクティビティー 1

図15をコピーして全員に配ります。丸で囲まれた文を全部読ませます。そこでChapter 1、2と3を読ませます。読みながら、それぞれの文が、ストーリーに従って出来事が起こった順につながるように、点と点を線で結ばせます。なかには内容が正しくない文もあるので注意させます。

線をつなぎ終わるとある形が浮かんで見えてきます。何でしょうか。ストーリーでそれが重要となるのはなぜでしょうか。

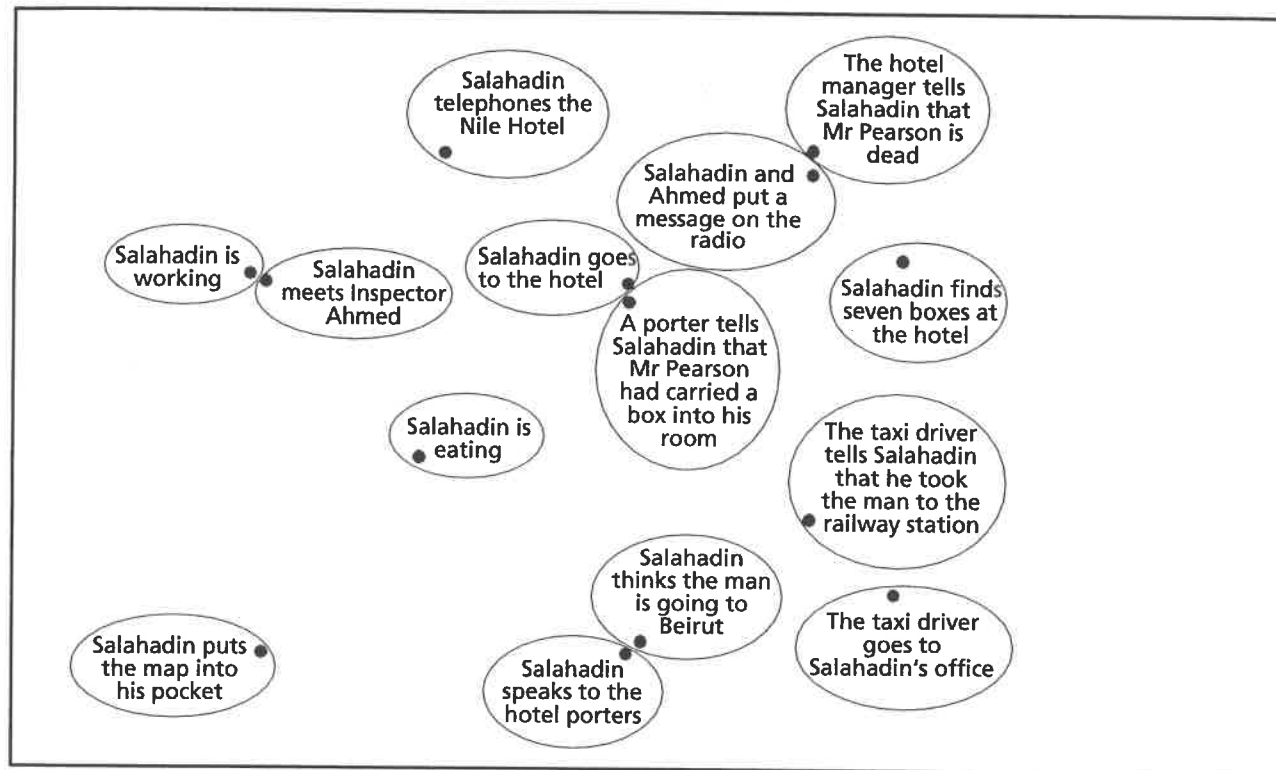


図15

〔答え〕 16ページ参照。絵はbox。Pearsonのホテルの部屋から消えた箱。

誤りの文は以下の3つ。

- Salahadin is eating.
- The taxi driver goes to Salahadin's office.
- Salahadin finds seven boxes at the hotel.

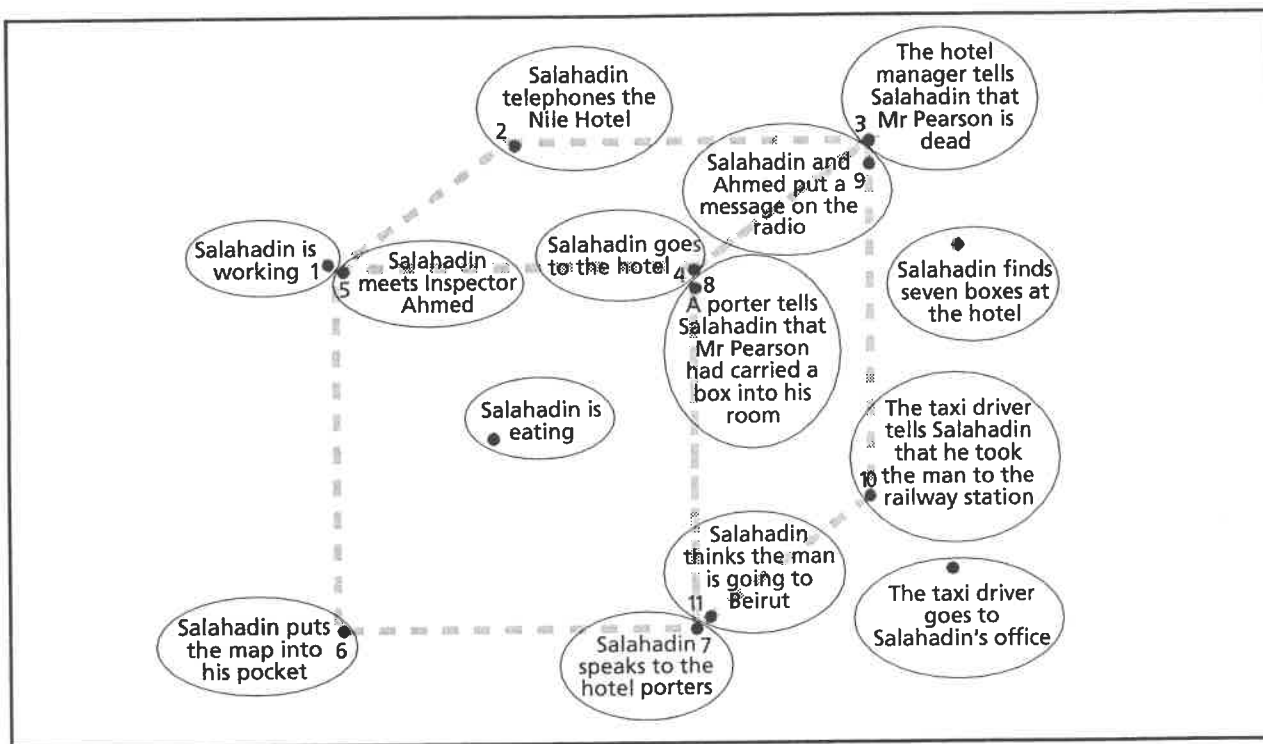
アクティビティー 2

本を閉じさせたまま黒板に次の文、Chapter 4の最初と最

後の文を書きます。

- It was now 7 o'clock in the evening. The train from Cairo had arrived at Alexandria at half past two ...
- "... And now I must go. I've a lot to do," said Salahadin. "I must book a seat on the aeroplane and get a ticket."

クラスをペアの組に分けて作業させます。このChapter 4は“Boat to Beirut”（ベイルートへの船旅）という章タイトルがついていることを説明し、この章ではどんなこ



答え：図15

とが起こるか、ペアごとにそれぞれ決めさせてから、Chapter 4 を読んでいきます。

アクティビティー 3

Chapter 6 を各自、黙読させます。読み終えたらPearsonのメモである、24ページの<Questions that must be answered>を、まず、ペアの組で答えを考えさせます。それが終わったら4人のグループをつくり、答えを討論させます。答えは全員一致となるでしょうか。

アクティビティー 4

Chapter 6 を読みます。それぞれペアを組んでの作業です。彼らは旅行代理店で働いていると想定して、Faudの本国での1週間の休暇のお勧めプランを作成させます。旅行代理店の客をその気にさせるセールスポイントは何でしょう。このアクティビティーは宿題の課題としてもよいでしょう。

アクティビティー 5

Chapter 7 と 8 をテープで聞かせますが、その前に、次の質問を与えておきます。Where does this part of the

story happen? How many cars are there?

さて、Chapter 7 と 8 を読ませて、何が起こったのか確認させます。ペアで作業し、次の質問をします。

- Who was in the black car? [Answer: The fat man/The Red Hand Gang.]
- Who was in the taxi? [Answer: Borkman.]
- Why was the black car following the taxi? [Answer: The Red Hand Gang was trying to get the Black Cat from Borkman.]

アクティビティー 6

Chapter 9 を読みながら、次の表を完成させます (図16)。これは、SalahadinがBlack Catの動きについて何を知っているかを示すものです。

The Ankuten Tomb	The Ankuten Tomb
Place: Who: Pearson How: ?	Place: Cairo Who: Pearson How: ?
Place: Who: How: by boat	Place: Alexandria Who: Borkman How: by boat
Going to: Who: Peterson How:	Going to: Athens Who: Peterson How: The boat "The Syria"
NOW	NOW

図16

答え：図16

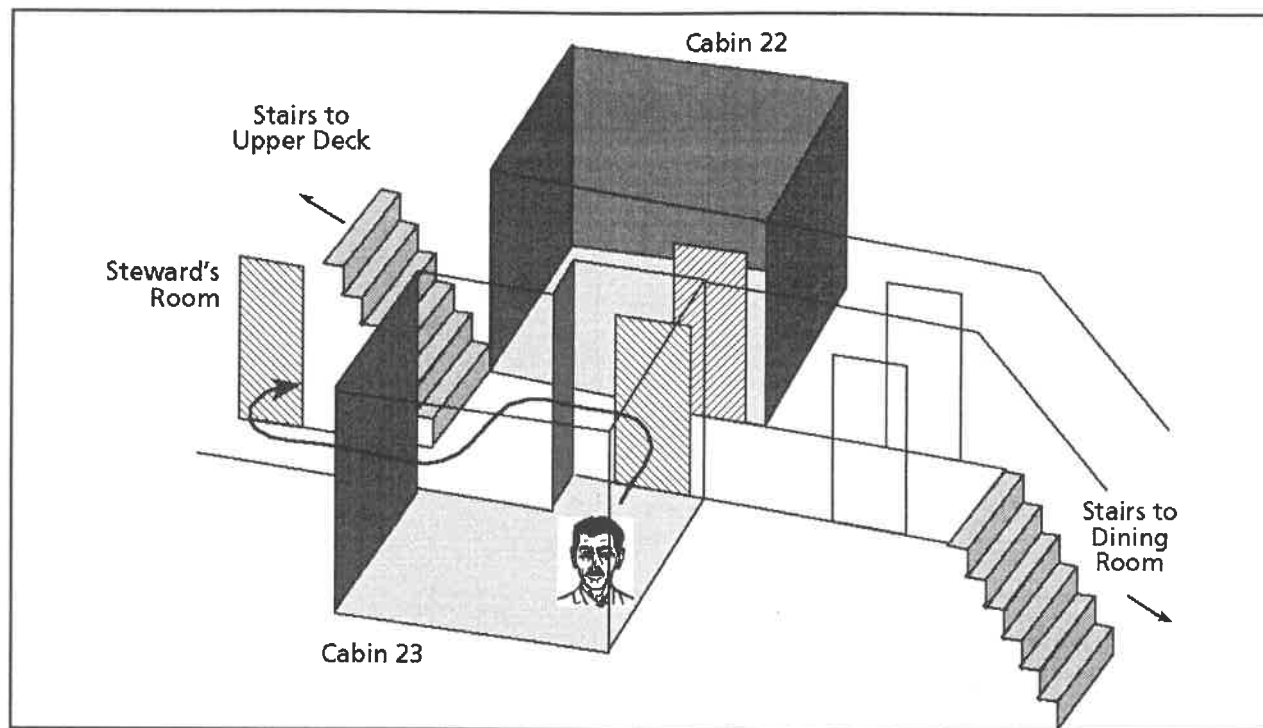
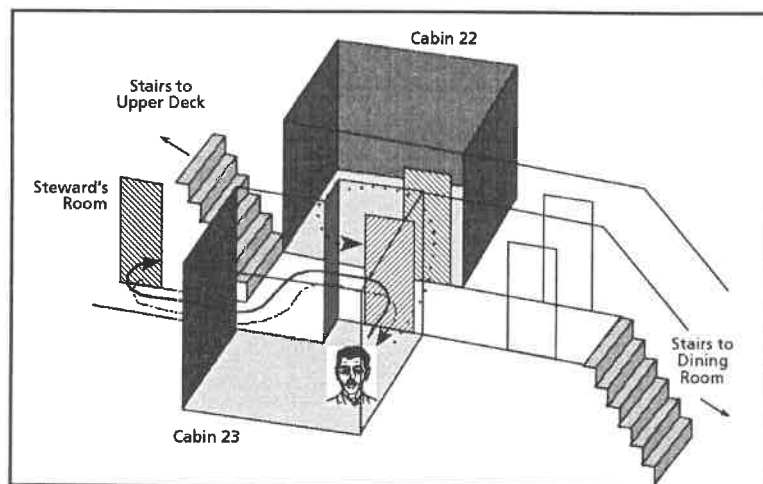


図17

アクティビティー 8

次の文を板書し、声を出して読み上げ聞かせます。生徒たちには、文を正しい順序に入れ替えながら、Chapter 12から15までに何が起こるか予想させます。そのあと、生徒たちは自分の予想が正しかったかどうか、実際に読んで確かめます。

- The policeman did not ask Salahadin to open the box. In a few minutes, Salahadin was in a water taxi on his way to the railway station.
- When Salahadin woke up the next morning, the bright sun was shining into his cabin. He looked at his watch. It was nearly eleven o'clock.
- 'Mr Peterson's put the "Do Not Disturb" notice on his door,' said the steward. 'Perhaps he's sick. I'll not disturb him until Venice.'
- Suddenly Peterson lifted his gun.



アクティビティー 7

図17の展開図を見ます。Chapter11を読みながら、Salahadinが動いたあとをたどって、図に書きこませます。すでに書きこまれているところから続けていきます。

答え：図17

Write the names of the people who said these things:

I'm sorry. You can't speak to Mr Pearson, sir. Mr Pearson is dead.

I carried three and my friend carried three.

I took him to the railway station. He wanted to get there before twelve o'clock.

Who are you? What are you doing in my cabin?

Who said what?

I can get to Beirut before him.

But, I know him. He's a Swede and his name is Borkman. ...I've often seen him in the museum.

Send us a telegram from Athens.

Go to Ba'albek. Go to Jusef's café...Tell him the Black Cat is safe.

Our house is more comfortable than a hotel. He must stay here tonight.

図18

Who said what?

The hotel manager: I'm sorry. You can't speak to Mr Pearson, sir. Mr Pearson is dead.

The hotel porter: I carried three and my friend carried three.

The taxi driver: I took him to the railway station. He wanted to get there before twelve o'clock.

Saladin: I can get to Beirut before him.

But, I know him. He's a Swede and his name is Borkman. ...I've often seen him in the museum.

Fuad: Send us a telegram from Athens.

Borkman: Go to Ba'albek. Go to Jusef's café...Tell him the Black Cat is safe.

Lela: Our house is more comfortable than a hotel. He must stay here tonight.

「読んだ後」のアクティビティー

アクティビティー 9

ストーリーを読み終えたところで本を閉じさせ、図18の「Who said what?」のコピーを渡します。本を見ないで、それぞれの台詞はだれのものか、思い出して埋めさせます。パートナーと一緒に作業し、答えを比べ合った後、本で答えを確かめます。

答え：図18

アクティビティー 10

4人でやるボードゲームです。生徒たちを4つのグループに分けます。それぞれのグループについて、次のものが必要になります。

- 4色の色付きカウンター、1カウンターにグループの1人を割り当てます。
- さいころ
- The Black Cat 1冊
- 20～25問の質問カード（19ページを参照）。これらは前もって用意します。1枚に1つの質問を書きます。必要になるまでそれらは伏せておきます。

- ①生徒を4つのグループに分けます。
- ②STARTの上にカウンターを置きます。プレーヤー1は、さいころを投げて出た目によってコマの数だけカウンターを移動させます。
- ③「戻れ」とか「○だけ進め」などの指示のあるコマに来たら、その指示に従います。
- ④「質問」のコマに来たら、質問をグループ全員に聞こえるように読み上げ、答えなければなりません。もし答えが正しければ、そのコマに留まりますが、間違っていたら、前回のコマまで戻らなければなりません。質問に答える間は、本を見てはいけません。他のメンバーたちは答えを確かめるために見る事が許されます。
- ⑤空白のコマに来たら、そこで待ちます。次のプレーヤーに変わります。
- ⑥順にさいころを振ってボードの上を進みます。

Black Cat Board Game

Questions:

How old is Salahadin? (サラハディンは何歳ですか)
Salahadin found a map. What words were written on the map? (サラハディンは地図を見つけてました。地図には何という言葉が書いてありましたか)
Fill in the gaps. (次の空所を埋めなさい) 'It was a --- box; but it was --- than the others.'

Who works with Salahadin in Cairo? (サラハディンがカイロと一緒に働いていたのは誰ですか)

Who was 'tall with broad shoulders. He had fair hair. He spoke Arabic. But he was not an Arab'? (「背が高く、肩幅が広かった。彼は金髪で、アラブ語を話していたが、アラブ人ではなかった」というのは誰ですか。)

When does the express train to Alexandria leave Cairo? (アレキサンドリアに向かう急行列車がカイロを出るのはいつですか)

Why does Salahadin go by plane to Beirut? (サラハディンはなぜベイルートに飛行機で行くのですか)

Who was Ankuten? (アンクーテンというのは誰でしたか)

Who works with Salahadin in Beirut? (ベイルートでサラハディンと一緒に働いていたのは誰ですか)

In the month of May it is hot in Cairo. What is the weather like in Beirut? (カイロの5月は暑いですが、ベイルートはどんな気候ですか)

What famous things are in Ba'albek? (バールベックでは何が有名ですか)

Who owned a cafe in Ba'albek? (バールベックの喫茶店のオーナーは誰ですか)

Salahadin had a long time to wait in Piraeus. How did he pass the time? (サラハディンはピレウスで長いこと待っていました。どうやって時間を過ごしましたか)

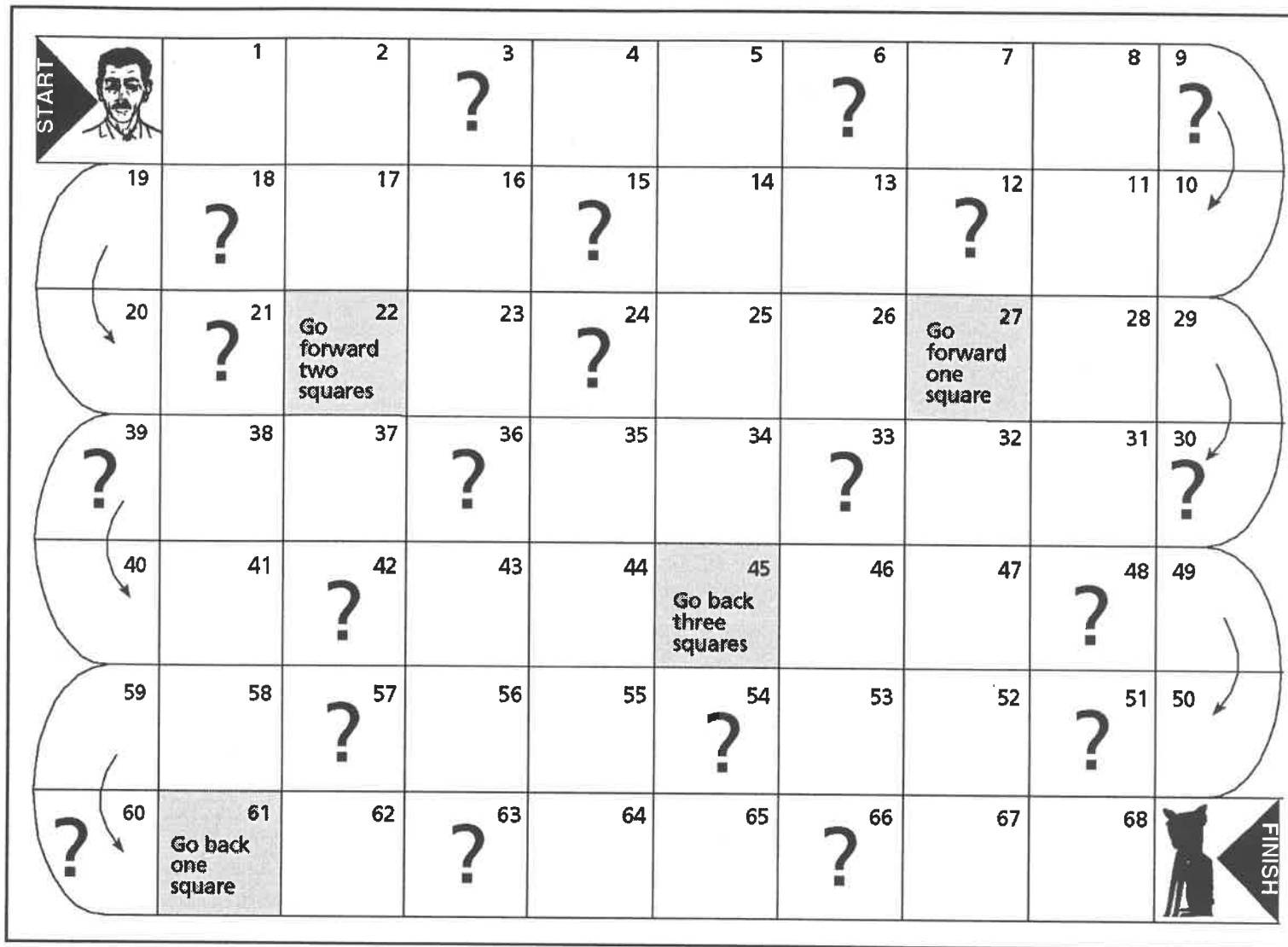
What was in the steward's room on The Syria? (ザ・シリアの乗客係の部屋には何がありましたか)

What notice did Salahadin put on his cabin door? (サラハディンがキャビンのドアに貼ったのはどんなメモでしたか)

Who worked in the Cairo museum? (カイロ美術館では誰が働いていましたか)

What was the Black Cat made of? (Black Catは何でできていましたか)

What was the number of Peterson's cabin? (ピーターソンのキャビンの番号はいくつでしたか)



Jurassic Park Board Game

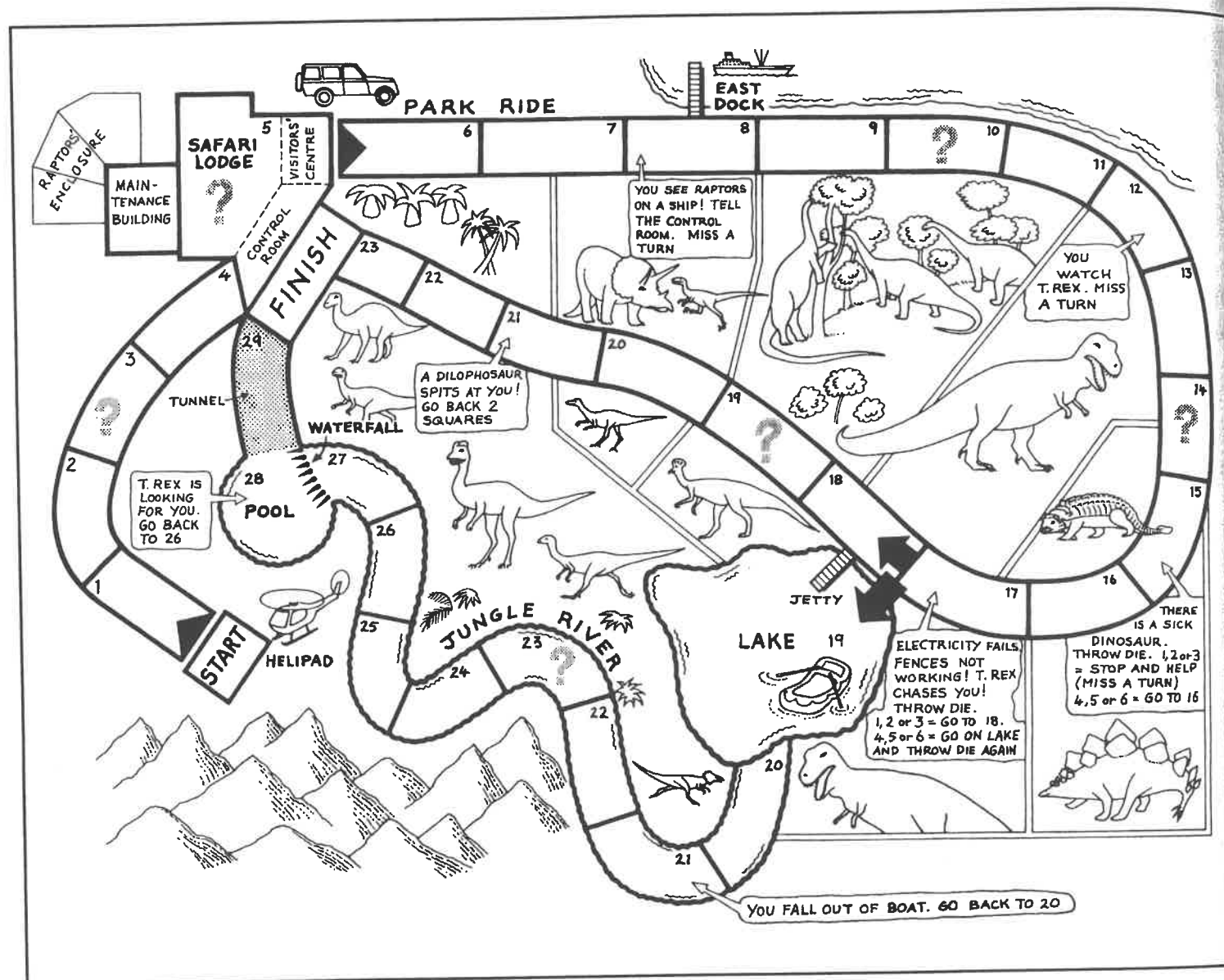
Jurassic Parkを読んだことのある人たちでするゲームです。

[用意するもの]

- ・さいころ
- ・各自にコマ (できればダイノザウルの形に作ると楽しい)

[やり方]

- このゲームをコピーして厚紙に貼る
- Jurassic Parkの内容に関する質問を20個作りカードに書く。カードの裏に「?」マークを書いておく。質問の内容は中の事件や人物の性格、ダイノザウルの特徴についてなど。
- ゲームのきまりをリストにして書いておく。



Worksheets (サンプル)

STARTER LEVEL

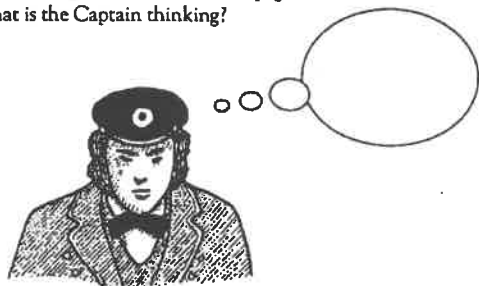
The Lost Ship by Stephen Colbourn

A Before reading

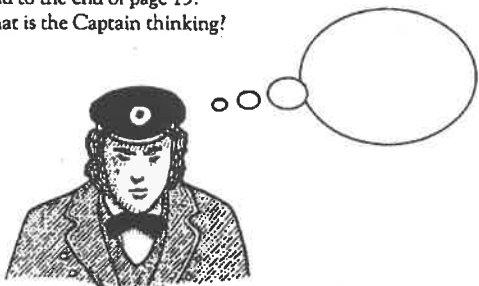
- Look at the cover: what kind of ship is it:
 - a steam ship?
 - a sailing ship?
- Read the back of the book: what is a strange ship:
 - a ship that is frightening?
 - a ship that is not like other ships?
 - a ship that is old?

B While reading

- Start reading. Read to the end of page 3:
What is the Captain thinking?



- Read to the end of page 15:
What is the Captain thinking?

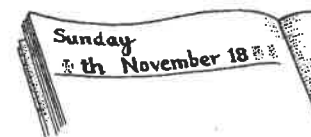


HEINEMANN GUIDED READERS

■ Worksheet ■

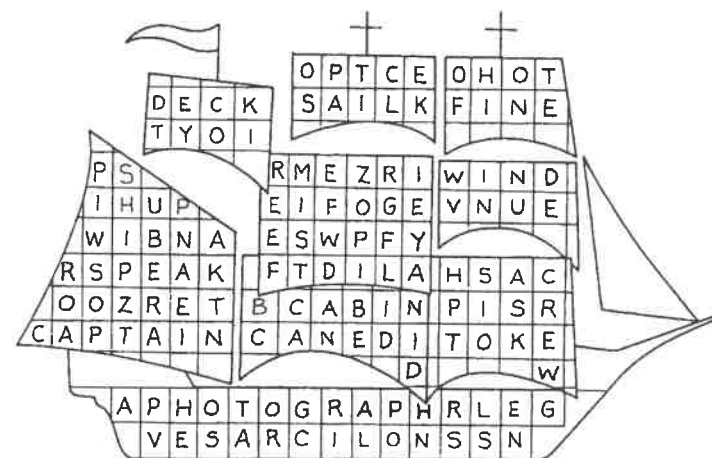
C After reading:

- What is on the next page of the log book?



- Find these words hidden in the ship:

ship fine wind captain crew sail
photograph mist deck cabin



- Now put the words in these sentences:

- It's a very strange
- The weather is
- The is steering the ship.
- I cannot see the or
- They want to to Florida.
- This is the Captain's
- The ship is in a thick, white
- There is nobody in the
- The Captain is below

HEINEMANN GUIDED READERS

■ Worksheet ■

BEGINNER LEVEL

The Sky's The Limit by Norman Whitney

A Before Reading

- 1 Look at the picture on the front of the book. Read the back cover. What kind of story do you think this is?

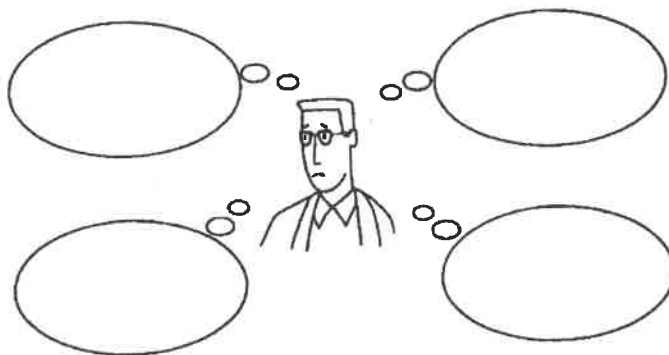
- (a) an adventure story (b) a romance
(c) a mystery story (d) a horror story
(e) a science-fiction story

B While Reading

- 2 Look at the other side of this worksheet for question 2.

C After Reading

- 3 Here is Frank. Max has jumped off the top of the Star building. What does Frank think? Write in the bubbles.



- 4 Imagine you are a television reporter. You are interviewing Angela after Max is dead. What questions will you ask her? What answers will she give?
- 5 Look at the picture on the cover again. You can answer these questions in your own language.
- (a) Who is the man?
(b) Why are his eyes covered?
(c) Why is he walking on a rope?

HEINEMANN GUIDED READERS

■ Worksheet ■

- 2 Answer the questions after you have read each chapter. Start at the bottom of the Star Building.

Max's Rise to the Twenty-fifth Floor.

WHY DOES MAX JUMP?	
25	What does Max do at work now?
24	Is Max happy?
23	Is Angela happy?
22	Does Max know more about FBI?
21	Where is Donna?
20th FLOOR	
20	What job does Max do now?
19	How does Angela feel?
18	What lie does Max tell to Angela?
17	What does Max do at work now?
16	Where is Frank?
15th FLOOR	
15	Why does Frank say "...be careful."?
14	Are Angela, Stephen and Juliet happy?
13	What does Max do at work?
12	Does Max like the tenth floor?
11	Does Frank like the tenth floor?
10th FLOOR	
10	Is Angela happy?
9	Is Max happy?
8	Is Frank happy?
7	What does Max do at work?
6	Who works with Max?
5th FLOOR	
5	Is Max's family happy?
4	Is Max happy?
3	Are people friendly?
2	Who does Max meet?
1	What does Max do at work?

HEINEMANN GUIDED READERS

■ Worksheet ■

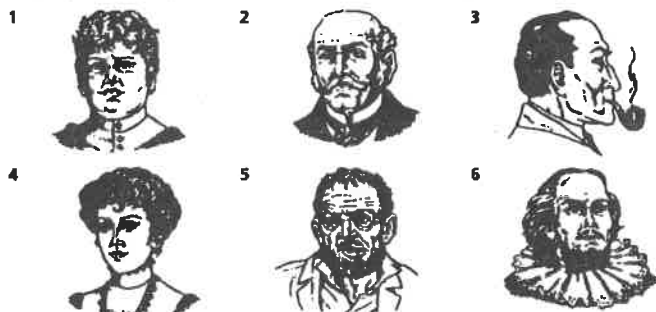
© Heinemann International 1992

ELEMENTARY LEVEL

The Hound of the Baskervilles by Sir Arthur Conan Doyle

A Before Reading

- 1 Here are pictures of some of the people in this story. And here is some information about them. Put each description with the correct picture.



3	Sherlock Holmes is a very clever detective.
	Sir Hugo Baskerville was the owner of Baskerville Hall in 1645.
	Sir Charles Baskerville was the owner of Baskerville Hall at the beginning of this story.
	Mrs Barrymore is a servant at Baskerville Hall.
	Seldon is an escaped prisoner from Dartmoor Prison.
	Miss Stapleton is a tall, beautiful woman with dark hair and dark eyes.

B While Reading

- 2 Read to the end of Chapter 5. You are Sherlock Holmes. Write in your notebook. What do you know about these things?

1 the missing boots
2 the letter
3 the man with the black beard
4 the death of Sir Charles Baskerville

HEINEMANN GUIDED READERS

■ Worksheet ■

- 3 Read to the end of Chapter 10. Lots of things happen in the story. Put these events in the correct order.

	Sir Henry and Dr Watson find the body of Seldon.
	Dr Watson meets Mr and Miss Stapleton.
	Sir Henry loses a second boot.
	Dr Watson finds the man at the farmhouse on the moor.
	Dr Watson meets Mr Frankland.
	Sir Henry and Dr Watson catch Barrymore signalling to Seldon.
	Dr Watson and Sir Henry travel to Dartmoor.
	Dr Watson sees Barrymore moving a candle in front of a window.

- 4 Read to the end of Chapter 13. Then read the beginning of Chapter 14. 'There are still some things I don't understand,' I said to Holmes. 'Tell me - who was Stapleton? Why did he want to kill Sir Henry?' You are Holmes. Tell Watson the answers to his questions.

C After Reading

- 5 Look at the letter on page 17. Miss Stapleton sent it to Sir Henry Baskerville. Now read page 46 again. Make the letter that Miss Stapleton sent to Sir Charles Baskerville. Use letters or words from a newspaper.
- 6 Look at the map on page 30. Draw a map like Dr Watson's map to show where you live or work.
- 7 You go for a walk on Dartmoor. Write a description of your walk. Here are some words to help you.
moor, path, mire, tor, mud, rock, hill, stone, green, grey, black, white, mist, moonlight/sunlight

- 8 Write one part of the story as a play eg Sherlock Holmes meets Sir Henry (Chapter 4) or Sir Henry and Dr Watson find Barrymore signalling to Seldon (Chapter 9)

eg *Sherlock Holmes Meets Sir Henry Baskerville*

(Next morning. Dr Mortimer brings Sir Henry to Baker Street.)

DR MORTIMER: Good morning, Mr Holmes. This is Sir Henry Baskerville.

HOLMES: Good morning, Dr Mortimer. Good morning, Sir Henry. I'm pleased to meet you.

(Holmes shakes hands with his visitors.)

HEINEMANN GUIDED READERS

■ Worksheet ■

© Heinemann International 1992

INTERMEDIATE LEVEL

Bristol Murder by Philip Prowse

A Before Reading

- 1 Read the information on the back cover. Now write the first paragraph of the story.
- 2 Imagine you are a policeman. Write five questions which you want to ask John Stevens.
- 3 Read pages 4 to 6 *The People in This Story*. Now close the book. Look at the pictures below. Who are these people? Write the correct name under each drawing. Then write two facts about each person.



NAME:	NAME:	NAME:	NAME:
FACT 1:	FACT 1:	FACT 1:	FACT 1:
FACT 2:	FACT 2:	FACT 2:	FACT 2:

B While Reading

- 4 Read to the end of Chapter 9. Here is the map from page 6.
 - (a) Draw a line along Peter's route to Manchester.
 - (b) Show where Peter and John are in each chapter.



HEINEMANN GUIDED READERS

■ Worksheet ■

- 5 Read to the end of Chapter 16. Here are the chapter headings for chapters 10 to 15. Can you find more exciting, interesting or helpful headings? You can change three of these headings. Which ones will you change?

10 John is Arrested	-
11 Peter Finds Bob Steel	-
12 More Information	-
13 In the Cafe	-
14 The Chase	-
15 The Police Station	-

C After Reading

- 6 What kind of people are they? Find a sentence spoken by each person that shows what kind of person he is. For example is he: pleasant, unpleasant, brave, scared, honest, dishonest, helpful, unhelpful?



Peter



Tommy



Jeff



Bob

- 7 On page 15 there is a newspaper report about the murder of Mr Robert Stevens. On page 47 there is a report about John's arrest. Write the report that is in the newspaper after Tommy Logan's arrest.

Tommy Logan Arrested For Murder Of Teacher, Robert Stevens

- 8 (a) On page 33, John said to Susan, 'I can't explain now, but I've got to go back to Bristol. If you give me your address I'll write to you.' Write John's letter to Susan. Tell her about what has happened.
 - (b) Imagine John goes to Manchester to meet Susan again. He goes by train this time. Write a script (a play) of their meeting. John tells Susan all about the murder of his uncle. Start your script when Susan meets John at Piccadilly Station, Manchester.
- 9 'What do you think will happen to Tommy Logan?' John asked Peter. 'I don't know,' answered Peter. What do you think will happen to Tommy Logan? (Think about what would happen to him in your country.) Give reasons for your answer.

There is a cassette recording of Bristol Murder. Have you read *The Woman Who Disappeared* by Philip Prowse or *The Queen of Death* by John Milne?

HEINEMANN GUIDED READERS

■ Worksheet ■

© Heinemann International 1992

UPPER LEVEL

Rebecca by Daphne du Maurier

A Before Reading

- 1 Look at the cover. Who might this woman be? Write down three adjectives which describe her or the way you think she is feeling.
- 2 Read the description of the story on the back cover and look at the illustrations inside the book. Look at the people, their clothes, their faces, the setting. Now explain what you think the story will be about and explain what clues you found in the illustrations.

B While Reading

- 3 Read to the end of Chapter 4. Imagine Mrs Van Hopper is talking to her daughter, Helen. Pretend you are Mrs Van Hopper. Write a letter to Helen saying what happened in Monte Carlo. You must show how Mrs Van Hopper feels about what has happened.
- 4 Find out about the Narrator. While you are reading Chapters 5 to 17 make a list of the words or phrases that describe how the narrator feels. An example is given for you.

Word or Phrase	Chapter	Page
lonely and afraid	5	26

- 5 At the end of Chapter 17.
 - (a) Look at your answers to Question 2. Did you make any good guesses?
 - (b) You now know what happened to Rebecca and you have read the Introduction which is set twenty years after the end of the story. Write a list of ten things that might happen, or things that the characters might do, between the end of Chapter 17 and the end of the story. All your guesses should be good ones now!

C After Reading

- 6 Draw a line to join the name of the character to the right description.

Frank Crawley	her fat, heavy body swayed above her short, fat legs.
Max	A tall, thin woman dressed in black
Beatrice	His face was fat and round and he had thick, red lips.
Frith	tall, broad-shouldered and very much like Maxim.
Mrs Van Hopper	awkward and shy ... straight hair and badly fitting clothes.
Ben	... big, handsome man ... and his eyes were a hard blue.
Favell	a dark-haired, handsome man. His face was pale.
Mrs Danvers	An old man with a kind face ...
Narrator	... a thin man with a pleasant, worried face.

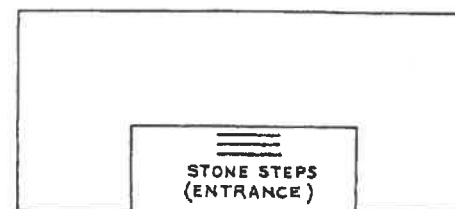
HEINEMANN GUIDED READERS

■ Worksheet ■

- 7 Here is a plan of Manderley and a compass. Make your own plan of the house and the area around it and show where these places could be. Use the book to help you.

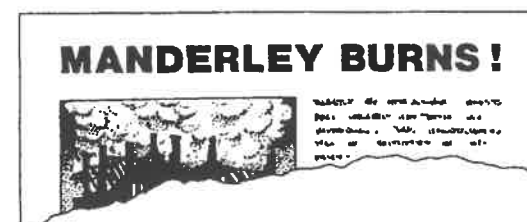
the sea
the lodge
west wing
Rebecca's cottage
the rose garden

the hall
the drive
the library
east wing
Happy Valley



- 8 Why do you think that the author never gives the Narrator a name? Do you think it was a good idea not to give the Narrator a name?

9



Write an exciting front page newspaper story about the burning of Manderley. Include details about Rebecca's death, the wreck, the body in the boat, the inquest, and Maxim's second marriage.

- 10 Pretend you are going to direct a film of Rebecca. Make a list of all the characters and choose the actors who are going to play these characters in your film. Explain briefly why you have chosen each of these actors.

Daphne du Maurier also wrote *My Cousin Rachel*, another Heinemann Guided Reader which you might enjoy (Intermediate Level). At Upper Level, try reading these romances: *The Return of the Native* by Thomas Hardy, and *Precious Bane* by Mary Webb.

HEINEMANN GUIDED READERS

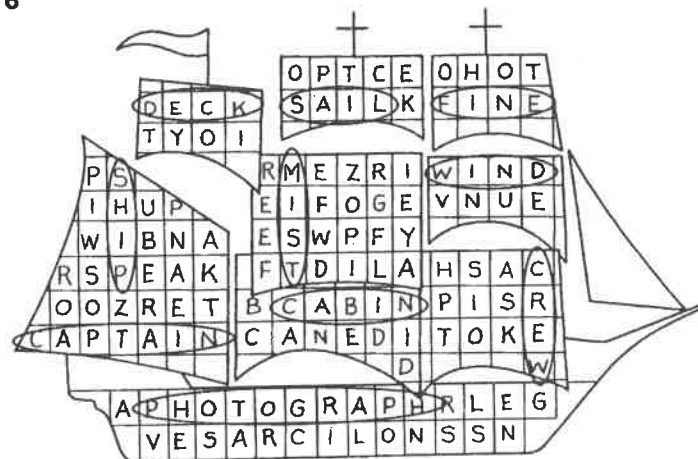
■ Worksheet ■

Worksheet Answer Keys (サンプル)

The Lost Ship by Stephen Colbourn

6

- 1 (b) a sailing ship
- 2 (b) A ship that is not like other ships.
- 3 *Student's own answer. Answers may say that the captain is pleased/happy that the voyage is going well.*
- 4 *Student's own answer. Answers may say that the captain is confused, maybe frightened. He is probably asking a question.*
- 5 *Student's own answer. The next page of the log book could be about the captain seeing a ship coming. Perhaps it is bringing another captain (in 1869) who will take his/the place of the one writing in the log book. Now, in 1872, another captain has arrived. Or perhaps the next page is about still being alone – and similar to the log book entry on page 16.*



- | | | |
|------------|-------------------|-----------|
| 7 (a) ship | (d) captain, crew | (g) mist |
| (b) fine | (e) sail | (h) cabin |
| (c) wind | (f) photograph | (i) deck |

HEINEMANN GUIDED READERS

PHOTOCOPIABLE

BEGINNER LEVEL

The Sky's the Limit by Norman Whitney

- 1 *Student's own answer. The most likely answers are: (c), (e) and (a). (d) is less likely. (b) is very unlikely. Students could justify their answers in their own language.*
- 2
 - (1) He works in an office. He opens letters. He puts orders into groups.
 - (2) He meets Frank and lots of other people.
 - (3) Yes
 - (4) Yes
 - (5) Yes
 - (6) Frank, two other men and a secretary work with Max.
 - (7) He receives orders and prices them.
 - (8) No
 - (9) Yes – he likes his better salary and No – he argues with Angela.
 - (10) No
 - (11) No
 - (12) Yes
 - (13) He meets important guests and talks to them.
 - (14) No
 - (15) Frank does not like the jobs on the higher floors in the Star Building. He does not understand the jobs they are doing. Max is alone now and has no friends at work.
 - (16) Frank is on the tenth floor.
 - (17) He reads orders that he does not understand. We don't know.
 - (18) He says he is in the office. But he is in a restaurant.
 - (19) Angela feels angry.
 - (20) He wants to be a Director of Friendship Services International.
 - (21) We do not know. Max works alone.
 - (22) No
 - (23) No
 - (24) No
 - (25) Nothing
- 3 *Student's own answer. Frank may remember Max was his friend, he may feel sad/guilty, he may wonder why Max jumped, what job Max was doing, what FSI does, he may think about Angela and the children.*
- 4 *Student's own answer. The reporter may ask about their marriage, the children, the reason why Angela left Max, about Max's job. Angela may refuse to answer or she may tell the reporter how Max changed as his job became more important.*
- 5
 - (a) Perhaps it is Max.
 - (b) Max did not know what he was doing at work while he thought he was becoming more and more important.
 - (c) Only one thing was important to Max – his job. He had no family and no friends in the end. And his job made his life more and more difficult and at last it killed him.